

社協だより

発行：社会福祉法人 上越市社会福祉協議会
上越市寺町 2-20-1 上越市福祉交流プラザ内
☎：025-526-1515 FAX：025-526-1230
ホームページ
<http://www.jouetushisyakyo.jp/>

災害時相互協力協定締結式

いざ！
地域を守る協力隊



特定非営利活動法人
くびき野 NPO サポートセンター
理事長 内山 勇人 様

公益社団法人
上越青年会議所
理事長 大嶋 賢一 様

社会福祉法人
上越市社会福祉協議会
会長 橋本 眞孝

【災害時相互協力協定締結式】について3ページに掲載

も く じ

- 災害発生時の支援 2～3 ページ
- 赤い羽根共同募金運動 4 ページ
- 活動レポート 地域でキラリ、上越市社会福祉協議会役員及び評議員の改選... 5 ページ
- インフォメーション、寄附 6～7 ページ
- 平成28年度 上越市社会福祉大会 8 ページ

被災された方や 地域に寄り添う

災害発生時の支援

平成 28 年 4 月 14 日と 16 日に熊本県で最大震度 7 の地震が発生しました。

被災地では余震が頻繁に発生した影響で、今でも地域によっては避難生活が続いているところがあり、支援が必要な状況となっています。

被害のあった市町村では災害ボランティアセンターが開設され、これまでも復興に向けて多くのボランティアによる支援活動が行われてきました。

上越市にも高田平野断層帯が東西に走っているなど、地震災害がいつ発生しても不思議ではない状況にあります。

また、大雨による河川の氾濫や土砂崩れなど、さまざまな自然災害による被害も危惧されることです。

当市で大規模災害が発生した場合には、上越市地域防災計画に基づいて社会福祉協議会が主体となり、関係機関と連携を図りながら災害ボランティアセンターを開設・運営します。

各地から災害復旧のため駆け付けるボランティアをスムーズに受け入れ、被災された方々の状況に応じた適切な支援を行います。

災害ボランティアセンターのしくみ

被害を受けた方



屋内外の片付けなど、お手伝いをお願いしたい作業や困りごとなどを災害ボランティアセンターへ連絡します。

必要に応じて、スタッフが現地確認に伺います。

自分一人で抱え込まず、“手伝ってほしい!”と声を出すことが大切です。

連絡

全国からのボランティア

出発前に、被災地の被害状況や災害ボランティアセンターの開設状況、ボランティアの活動内容などの情報を収集します。

また、活動前に「ボランティア保険」に加入します。

受付



災害ボランティアセンターで受付します。ボランティアとして登録され、活動が可能となります。

活動



被害を受けた方などからの依頼に基づき、ボランティアが支援活動を行います。



ボランティアによる活動は、被害を受けられた方のお宅での支援ばかりではなく、避難所の運営支援や救援物資の整理など、復旧・復興に向けた様々な支援活動があります。

- 被災地での自分勝手な行動は危険です。被災者にも迷惑がかかります。
- 被害を受けた方の心情を考えない軽率な行為は控えましょう。
- 無理な活動はやめましょう。

災害の発生に備えて

上越市社協の取組

1 関係機関との連携

上越市社会福祉協議会は、上越市で災害が発生した時に、被災者の生活支援活動で協力していくための「災害時相互協力協定」を上越青年会議所、くびき野NPOサポートセンターと締結しました。

この3団体に行政の担当課が加わり、定期的に「災害ボランティア連携推進会議」を開催し、平時から災害に備えた連携を図っています。

災害が発生した場合には、それぞれの持つ専門的な技能やネットワークを活かしながら協力し、災害ボランティアセンターの迅速な開設・運営などにより、被災された方々を支援していきます。

2 マンパワーの確保

災害時には、市民の皆さんの力が必要となります。

上越市社会福祉協議会では、多くの方々から災害についての理解を深めていただき、災害が発生した際には、地域におけるボランティアニーズの把握や災害ボランティアセンターの運営補助、避難所での支援活動などに協力していただけるよう、妙高市社会福祉協議会と合同で「災害に関する講演会」「災害ボランティア養成講座・研修会」を実施しています。



6月22日に「災害時相互協力協定」を締結

災害ボランティア連携推進会議

座長 桑原 様 (上越青年会議所)からの一言

約2年前から協力体制を整えてきて、ようやく一つの大きな成果に繋がりました。これを期に連携を更に深め、顔の見える関係性を継続しつつ、有事の際には、しっかりと協力して対応できるように努めてまいります。



泥を見ずに人を見よ!

◇ 熊本県派遣職員の声 ◇

地域福祉課 佐藤 貴規

被災地でのボランティア活動現場では、目の前の瓦礫や泥を片付ける「作業」のみになりがちです。瓦礫や泥の先にいる「人」を見つめ、「心」に寄り添いながら活動することが大切です。私たちから見たら「汚れた服や写真」も被災された方にとっては「捨てがたい思い出の品」ということもあるのです。

(6月26日～7月1日の間、熊本県西原村のボランティアセンター支援で現地対応)



地域での心掛け

3 顔の見える関係づくり

地域の方々が日常的な交流の中で、お互いの状況を知っておくことが、いざという時の救援活動や助け合いにつながります。

日頃から挨拶を交わす、声をかけ合うなど、顔の見える関係をつくるのが大切です。

住民同士が仲の良い地域は、災害にも強い地域です。



4 受援力を高める

「じゅえんりょく受援力」とは、ボランティアを地域で受け入れる環境・知識などのことを言います。(支援を受ける力)

災害が発生した際には、ボランティアの人たちに、被災地はどのような状況なのか積極的に伝え、理解してもらうことが大切です。

また、「見知らぬボランティアの人たちに無料でお手伝いをしてもらう」という不安や戸惑いをなくすため、日頃から災害ボランティア活動について知っておくことが重要です。



じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金運動

【運動期間：10月1日～12月31日】

1947(昭和22)年に、「国民たすけあい運動」として始まって以来、赤い羽根共同募金運動は皆さまの支えにより広く定着してきました。募金運動は、都道府県ごとに実施され、災害時などを除き、集まった募金は新潟県内の福祉の向上のために使われます。私たちの上越市が「ふくしのまち」となるよう、地域福祉活動を行う団体や施設に助成されます。



おかげさまで70周年



愛ちゃん



希望くん

平成28年度の募金目標額

33,168,000円

赤い羽根共同募金運動は、事前に必要とされる金額を定めて募金運動を行う「計画募金」です。ご寄附いただいた募金の約7割は上越市の地域福祉の活動に使われ、残りの3割は市町村域を超えた新潟県内の活動に活用されます。

●合併前上越市：16,129,000円

●柿崎区：1,727,000円

●板倉区：1,793,000円

●安塚区：1,026,000円

●大湊区：2,068,000円

●清里区：672,000円

●浦川原区：1,562,000円

●頸城区：1,905,000円

●三和区：1,277,000円

●大島区：627,000円

●吉川区：1,313,000円

●名立区：967,000円

●牧区：835,000円

●中郷区：1,267,000円

平成27年度の募金実績額

31,722,300円

皆さまからのご寄附(募金)は、様々な地域福祉の取組に役立てられています。

上越市ボランティア連絡協議会

ふれあい広場の開催に！

100,000円

市内のボランティアと障がいのある方が、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

大規模災害に備えた活動に！

130,000円

上越市で大きな災害が発生した時に、ボランティアがスムーズに活動できるよう、関係団体と準備を行いました。



ボラ連ふれあい広場

詳しくは、<http://hanett.akaihane.or.jp>
(赤い羽根データベースはねっと)をご覧ください。

活動レポート

地域でキラリ

「お気楽健康教室」

リーダー 武江 純江さん

浦川原区内のいきいきサロンから依頼を受け、10年以上前からボランティアで健康教室を開催されています。健康教室では、笑いヨガや筋トレ、有酸素運動、歌などを行っています。健康に良いことは食欲に取り入れ、「みんな楽しく！」をモットーに活動されています。

写真は、今回で3回目の開催となった浦川原区日向のお楽しみ集会でのひとコマです。参加者からは「みんなが元気になります。」と笑顔が絶えません。他のサロンからも「とにかく盛り上がりつつ楽しい。」ととても好評です。

「みんなの願いの『人の世話にならず、いつまでも元気に過ごす』ためには、毎日の心がけと、ほんのちよつとしたことの積み重ねが大切」と話されます。特別なことをするのはなく、日常生活の中で無理なくできる



健康法をお話しされています。

武江さんは、サ



ロンボランティアのほかに、ふれあいランチの調理ボランティアや移動支援のボランティアなど、地域のボランティアとして活躍中です。いつ頃からボランティア活動をしてきたか、記憶にないというくらい日頃の生活の中に自然とボランティア活動が溶け込んでいる。「自ら芸人なので、声を掛けられればどこへでも行きます！」ととにかく明るくパワフルです。

武江さんにとってボランティアは生きがいであり、自分が楽しめること、自然体でいられることだそうです。自分の出来ることを出来る範囲で行っていることが、今日まで長くボランティアを続けてこられた秘訣だそうです。これからますますみんなが元気で過ごせるように、そして地域のために活動を行っていきたいということです。

上越市社会福祉協議会役員及び評議員の改選

役員及び評議員の改選が行われ、次の方々が選任されました。

任期は2年間で、理事会は執行機関、評議員会は重要事項の議決機関、監事は監査役として活動します。（順不同・敬称略とさせていただきます。）

（任期・平成28年7月1日～平成30年6月30日）

役職	氏名	役職	氏名
会長	橋本 眞孝	理事	西山 知太郎
副会長	井部 辰男	理事	岩野 道郎
副会長	三浦 元二	理事	佐藤 優一
副会長	杉本 正彦	理事	小関 信夫
理事	渡邊 隆	理事	井部 孝一
理事	八木 智学	理事	渡邊 幸雄
理事	馬場 秀幸	理事	長崎 政美
理事	中條 美奈子	理事	小林 良一
理事	竹田 定一	理事	梨本 隆
理事	藤田 宏裕	理事	山口 宗夫
理事	高橋 敏光	理事	大竹 敏一
理事	石田 秀男	監事	渡辺 佐千雄
理事	熊木 敏夫	監事	釜田 英一
理事	秋山 元徳		

以上27名

（任期・平成28年8月1日～平成30年7月31日）

評議員氏名							
竹内 明美	鳴海 壽一	古川 辰彌	内藤 立三				
藤田 和彦	中島 優	伊藤 邦雄	小池 源一				
岡田 暁彦	木村 廣	高橋 秀樹	田中 嘉明				
服部 國男	大山 義正	仲田 紀夫	金井 一春				
塩崎 千恵子	飯塚 幸太郎	松林 剛	丸山 信子				
中村 功平	田中 正一	白木 朝雄	石曾根 浩				
山崎 サチ子	金子 雄三	丸山 義雄	惣塚 泰次				
須藤 和子	五十嵐 誠太郎	佐藤 一男	北峰 恵祐				
梅澤 俊行	麦谷 誠一	池田 正文	橋本 哲夫				
牛木 秀人	手嶋 満男	坂口 哲哉	以上51名				
佐藤 正子	清水 栄一	江口 鎮夫					
重野 耕作	小林 敏郎	丸山 進					
大島 喜七郎	平田 伸一	白井 一夫					
柴田 幸男	保坂 善夫	碓井 和子					

インフォメーション

権利擁護推進事業

ミニ講座

「想いを伝える遺言」～遺言を書いてみよう～

日 時：10月29日(土)

午前10時～11時30分

対 象：市内在住の方

(先着順30名)

場 所：上越市福祉交流プラザ

参加費：100円

申込方法：10月1日～18日までに電

話または、ファックスでお申込みください。

※参加者には、オリジナル「エンディングノート」をプレゼントします。

専門相談

専門相談のテーマは「遺言に関すること」です。

日 時：11月16日(水)午前9時～正午

対 象：市内在住の方

(先着順3名)

場 所：上越市福祉交流プラザ

費用：相談無料

申込方法：10月1日(土)～11月1日(火)

までに電話または、ファックスでお申込みください。

その他：相談時間は45分以内です。

※申込時に簡単に相談内容を伺います。

【申込・問合せ先】

地域福祉課 権利擁護・生活支援係

☎ 0255-5261-1212 (直通番号)
FAX 0255-5261-1230

音声訳講習会(初心者向け)

視覚に障がいをお持ちの方や高齢者、文章などを読むことに不自由な人のために、必要な情報を音声化し、カセットテープやCDで伝えます。講習会では、音声訳についての基礎知識と発音、発声、文章の読み方などの技術を学びます。

日 時：10月22日～11月26日の

毎週土曜日(全6回)

午前10時～正午

場 所：上越市福祉交流プラザ

講師：上越音声訳マザーテープの会

対 象：市内在住の18歳以上の方

定 員：20人(申込み多数の場合は抽選)

参加費：500円

(初回講習時にいただきます)

申込期間：10月3日(月)～14日(金)

社協だより

音声訳CDの無料貸出

音声訳ボランティア「上越音声訳マザーテープの会」の皆さんの協力により、社協だよりの音声訳をCDに録音して無料で貸出しています。視覚に障がいをお持ちの方や見えづらい、ページをめくりにくいなどで音声訳CDをご希望の方はお問合せください。

【申込・問合せ先】

地域福祉課

☎ 0255-5261-1515
FAX 0255-5261-1230

福祉講演会(頸城支所)

みんなで笑って、心と体の両面から元気になって、健康寿命が伸びるよう健康についての意識を高めよう。

日 時：11月23日(水)祝

午後1時30分～
(12時30分開場)

場 所：ユートピアくびき希望館

2階多目的ホール

内 容：「笑い与健康」

講師：

第1部 元頸城村公民館長

外ノ池 一様

第2部 新潟落語会会長

水都家艶笑様

入場料：無料

問合せ：頸城支所

☎ 0255-5304-361



水都家艶笑

地域相談会

不動産の鑑定・利活用相談会を開催します。概ね60才以上の方とその家族及び関係者が対象です。相談は無料で秘密は守られます。事前予約が必要です。それぞれの支所へ開催日の1週間前までにお申込みください。

日 時：11月14日(月)

午後2時～4時

場 所：上越市総合福祉センター

申込：上越北支所

問合せ：☎ 0255-5261-6116

日 時：11月22日(火)午前10時～正午

場 所：福寿荘

申込：(吉川区原之町1819-1)

問合せ：吉川支所

☎ 0255-5483-3454

第25回新潟県理学療法士学会 市民公開講座

『腰痛は怖くない！』

腰痛借金対策、教えます

講 師：東京大学医学部付属病院

22世紀医療センター

松平 浩 先生

日 時：11月13日(日)

午後2時50分～3時50分

場 所：ユートピアくびき希望館

入場料：無料

申込：新潟県理学療法士会事務局

問合せ：☎ 0255-2507-660

平成28年度在職者向け 訓練講習

『介護職員の腰痛を防止する介護技術コース』

日 時：11月10日(木)

午前9時～午後4時

11月17日(木)

午前9時～午後4時

※2日間のコースです。

場 所：新潟県立上越テクノスクール

(介護実習室)

受講料：3,900円

申込：新潟県立上越テクノスクール

問合せ：能力開発支援課

☎ 0255-5452-1190

締切日：10月27日(木)

善意の寄附に感謝を込めて…

心のかよいあう、あたたかいまちづくりのため、皆さまからのご浄財を地域福祉に使用させていただきます。
大変ありがとうございました。(順不同・敬称略)



平成 28 年 6 月 1 日から 8 月 31 日まで

社会福祉事業のために

●本 所

東雲町ふれあいの(わ) 10,000円
母子福祉会 支援資金
ハセガワOB会 支援資金
株式会社ユアテック上越営業所 支援資金
上越ゲートボール連盟 50,000円
NOC新潟県お見合いセンター上越 支援資金

一般財団法人上越市環境衛生公社
株式会社魚住かまぼこ店 65,630円
松田サチ 支援資金
春日山荘
ハッピー体操教室 保坂恵美子 支援資金

●安塚支所

匿名 支援資金
やすづか学園
秋山正道、竹内實、竹内康子、中村修治
山崎高美、藤原芳男、長崎イク、岡武夫
菅野千秋 以上 合計82,000円

●柿崎支所

柿崎いちもく会(柿崎) 20,000円
ふれんどリ〜ミルはまなす
柿崎銘菓会 10,000円

●大潟支所

大潟建築組合 13,780円
えちご上越農協大潟支店協同活動委員会 24,897円

●中郷支所

竹内信子 50,000円

●板倉支所

板倉区仏教会 50,000円

●三和支所

すいせんの里
渡辺洋子(東本町) 100,000円

●名立支所

名立南部仏教協会 20,000円

物品

●本 所

和会 タオル121枚

伊倉正子 電動ミシン1台、エプロン2枚
橋本タミ(五智) ミシン1台、鍋1個 他 多数
大島博史

紙オムツ9袋、尿取りパッド25袋
公孫会花梨の会

タオル100枚、バスタオル10枚
荻原その子 肌着、靴下等15枚
池田勇(戸野目) 電動ベッド1台
春日山荘
亀山雅子(西本町) 碁盤、碁石セット

●安塚支所

安塚やすらぎ荘
田久保芳孝 肌着シャツ、ズボン70枚
紙パット 他
秦正敏(安塚) リハビリパンツ4袋
珠坪文雄(芹田) タオル類22枚
池田恒男 ゆうがお8個 他野菜多数
(株)武江組 ウエットティッシュ200個

●浦川原支所

保高稔江(顕聖寺)
オムツ、尿取りパット多数

●柿崎支所

ふれんどリ〜ミルはまなす
柿崎銘菓会 タオル、皿、カップ 他 多数

●大潟支所

やすらぎの家
新保智加子(下小船津浜) タオル多数
タキヤ理容所 南雲義美(九戸浜)
業務用洗剤2箱
藤縄正夫(土底浜) 未使用ハガキ37枚

●頸城支所

太田政一 タオル31枚

●吉川支所

ほほ笑よしかわの里
公益社団法人高田法人会
タオル260枚、シーツ7枚
ボックスティッシュ10箱

●板倉支所

みやじまの里清心荘
橋本幸男 はくパンツ、尿取りパット 他 多数
森田乙吉 紙オムツ200枚 他

藤巻忠雄(沢田)

尿取りパット、リハビリパンツ
紙オムツ 他 多数
古海文四郎 オセロー式
竹田幸子
紙オムツ270枚、パット他430枚
佐川一夫
紙オムツ他250枚、ソフティア70本
伊藤哲夫 紙オムツ60枚、パット他350枚
嶋田照夫 紙オムツ他250枚
ソフティア20本、ハミングッド50本
古澤和子 紙オムツ50枚
大谷輝子 紙オムツ、リハビリパンツ多数

●三和支所

中澤実 紙オムツ346枚 他 多数

●名立支所

近藤秀雄(名立大町) 液晶カラーテレビ1台

使用済切手

ライフサポートゆう、上越市漁業協同組合
サノヤ商事(株)、第7地区民生委員児童委員協議会、木楽会、パナソニック・タワー
ジャズセミコンダクター(株)、田村家具店
(有)渡辺工務店、丸七商事、鷺嶺美代子
(有)第一セメント加工、浦辻富雄、丸山勝
(株)滝田、田中節子、中郷商工会、(株)
MARUWA、上田税務会計事務所、第四
銀行高田営業部、(有)上新オート、本間組
上越営業所、浦川原商工会、北諏訪地区公
民館利用者一同、川浦郵便局、梨本和宏
大島組、(有)ヤカタ建設、ふもと居宅介護
支援事業所、県立看護大学看護研究交流
センター、上越勤労者福祉サービスセン
ター、上越中屋敷郵便局損保ジャパン日本
興亜(株)、柳澤英次、(株)ジョーサン福田
芳子、保倉地区民生委員児童委員協議会
第9地区民生委員児童委員協議会、山岸功
丸山勝エフビー介護サービス(株)、(株)トス
ネット上信越上越営業所、匿名

皆さまからのご意見をお待ちしています。福祉団体やボランティア団体からの掲載記事もお待ちしています。

【連絡先】 上越市社会福祉協議会 総務課

☎025-526-1515・FAX025-526-1230 Eメール:jsk-jouetu@jouetushisyakyo.jp

平成28年度 上越市社会福祉大会

災害弱者をつくらない
～助けてを言えない人がいる～

式典

上越市社会福祉協議会 会長表彰
地域福祉推進に貢献されている皆さまを
表彰します。

フォーラム

防災 フォーラム

テーマ

「災害時に要支援者を
支えるためのまちづくり」
災害に強い地域づくりについて学びます。

日時 11月13日 日
午後1時30分～4時20分

場所 リージョンプラザ上越
(下門前 446-2)

開場 午後1時 入場無料

防寒 レスキューシート プレゼント

◇手話通訳・要約筆記があります。

近年、予測のつかない災害が日本各地で多発しています。被災者の中でも障がい者、認知症高齢者、妊婦、乳幼児、外国人など、特に自力での避難や避難生活が難しい災害時要支援者を支える仕組みの構築が大きな課題となっています。

住民が支え合いの必要性を学び、誰もが安心していきいきと暮らせ地域づくりを学び、災害に強いまちづくりを目指します。

●パネリスト

高齢者支援 さくら聖母の園 地域包括支援センター

障がい者支援 社会福祉法人 ロングラン代表理事

子ども支援 NPO法人ビーンズふくしま
みんなの家@ふくしま 事業長

外国人支援 茨城NOPセンター・コモンズ(たすけあいセンターJUNTOS)
外国人支援担当コーディネーター

あいば きよみ
相葉 清美 様

さいかわ のりこ
西川 紀子 様

とみた めぐみ
富田 愛 様

ながむら ゆかこ
長村 裕佳子 様



●コーディネーター

NPO法人
にいがた災害ボランティアネットワーク事務局長

り じんてつ
李 仁鉄 様



三条市在住、災害時には日本全国の被災地へ緊急救援スタッフとして派遣され、一日も早い自立に向けたボランティアセンター設置運営の支援を中心に活動されています。

◇防災グッズの展示や就労支援事業所の製品販売があります。

無料送迎バス(※要申込み)を運行します。

申込みは地域福祉課または、最寄りの各支所へご連絡ください。



赤い羽根
共同募金

この事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。

〔 問 合 先 〕 地域福祉課

電 話 025-526-1515

FAX 025-526-1230